



3月園だより

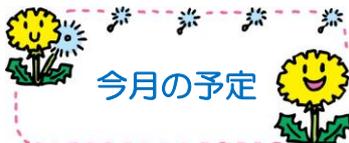
令和6年3月1日
目黒区立原町保育園園長

春のような暖かさから一転して寒さが戻り、三寒四温を繰り返しながら春の足音が近づいてきています。

先月7日にお店屋さんごっこを行いました。幼児クラスがそれぞれにお店を出し店員さんや客になり、乳児クラスや地域の方もお客さんになって楽しんだイベントでした。今回は“祭り”のイメージで園内には提灯や祭の文字が描かれているうちわを飾りつけ、子どもたち、職員ともにはっぴにねじりはちまきとお祭り気分満載です。お店もたこ焼きにチョコバナナ、宝つりにジャングル探検などがあり、秋に地域のお祭りを経験している子どもたちにとっては、品物作りの段階からアイデアを出し合いながら本物そっくりに仕上げていました。「いらっしゃいませ〜」「おいしいですよ」「こちらに座って食べてください」「ジャングル探検です。こわくないから大丈夫だよ」と小さな子どもたちにも声をかけていました。中でも一番の盛り上がりを見せたのは“カラオケ(のど自慢)”です。3歳児さくら組がのびよう会で使用した手作り楽器や金色のマイクを手に、一段高いステージに上がり歌って踊ってスター気分を味わっています。乳児クラスの子も客席からお兄さんやお姉さんの姿にあこがれの眼差しを向けながら手拍子を送っていました。そしてステージが空くと楽器とマイクを手にとり、緊張した面持ちでステージに上がると、嬉しさとはずかしさが入り混じったような笑顔を浮かべながらも楽しんでいる様子が印象的でした。子どもたちにとってはその場の雰囲気存分に楽しめたことが一番の思い出になったのではないのでしょうか。その日のおやつは調理師の手作りドーナツです。出来上がったドーナツはおやつチケットと引き換えに、調理師が直接幼児クラスの子も一人ひとりに手渡ししました。「ありがとう」「おいしかった〜」の声に調理師の顔は今日のドーナツ以上に甘くとろける笑顔にあふれていました。

もうすぐ子どもたちは一つ大きなクラスへと進級します。そして年長児は小学校への就学を迎えます。子どもたちが新たな出会いの中で自分の力を発揮し、一人ひとり自分らしく過ごしていけるよう、これからも見守っていきたく思います。

今年度も園の運営にたくさんのご理解、ご協力をいただきまして本当にありがとうございました。子どもたちが毎日元気に笑顔で過ごせたことに感謝しています。



今月の予定

-  ひな祭り
 -  卒園式 (5歳児)
 -  お別れ散歩 (3, 4, 5歳児)
 -  ポニー教室 (5歳児)
 -  お別れ会
- 中旬 身体計測、避難訓練

【クラス移動について】

- 26日(火) 新クラスにむけて準備をします。
 - 27日(水)~29日(金)は新クラスで現担任が保育をします。
- *詳細は後日掲示しますので、ご協力をお願いします。

子どものつぶやき

散歩道中、空を見て
「ヘビ」と教えてくれました。
空を見上げると。。
ヘリコプターが飛んでいました。
(1歳児クラス)



風が強い日、部屋から窓の外を見て
「はっばが『かぜ』っていている」
木の葉が揺れていることから、風の強さを感じて表現したようです。
(2歳児クラス)



0歳児クラス (かえで組)

入園当初は新しい環境の中で抱っこを求めている子どもたちも、今では自分の思いをたくさん出して好きなことを見つけて遊んでいます。小さなテーブルにカップを並べておくと「まんま」とお皿にチェーンを入れてごはん作りをしたり、手を合わせて「(いただき)ます」とごはんを食べる遊びが始まります。保育士が「おいしいね」と声をかけると頬に手をあて、にっこりしておいしさを表現しています。また、友達が遊んでいると近くに行って様子を見たり、同じ玩具を持って隣に行き、同じことをしてみようとする姿もあります。身近な生活の再現遊びも楽しくなってきました。



2歳児クラス (いちよう組)

この1年間を通して子どもたちのイメージがさらに広がり、お家ごっこやお店屋さんごっこなど身近な経験を基にイメージをする物を作り、再現することを楽しんでいます。「いらっしゃいませ」という声が聞こえると、その空間に興味を示した子どもたちが集まってきます。店員になった子が注文を聞き「ラーメンが食べたい」と言われると「おまちくださいね」とキッチンに行ってチェーンリングでラーメンを作り「どうぞ」と運んでくれます。「おいしいね」とお客さんの子はラーメンを食べ、今度は一緒にラーメンを作って遊んでいます。好きな遊びの中でイメージを共有しながら、保育士や友達とやりとりをしたり、なりきって遊ぶことを楽しんでいる子どもたちです。



4歳児クラス (ぽぷら組)

集団で遊ぶことが楽しくなり、鬼ごっこやドッジボールなどを楽しんでいます。ドッジボールをしている時に転んでしまった子が泣いていると「大丈夫？」と顔を覗き込んで声をかけたり、ティッシュを持って来て「はい」と手渡しています。その子が気持ちを切り替えてゲームに戻って来ると「あ、〇〇ちゃん来た」と嬉しそうに迎えていました。ゲームが進み、内野の人数が少なくなってくると「こっちが少なくなってきたから(元外野の人)入って～」と声をかけている姿もあります。友達のことに気付いて声を掛け合ったり、協力して遊ぶ姿に友達関係の深まりと心の成長が感じられます。

1歳児クラス (くるみ組)

春の頃にはタイヤに手をつき、一生懸命に足を上げよじ登っては中に入りひと休みしていましたが、今では自分でタイヤの上にバスマットを置き、立ち上がって「おい」と手を振ったり、その場で両足跳びをして「みて」とできたことを喜んで保育士に伝える姿が増えてきました。すのこの一本橋では、途中で落ちてしまうことがあってもくり返し挑戦したり、斜面があると一度立ち止まり、両手を広げてバランスを取りながらゆっくりと進んで「できた」と満面の笑顔を見せてくれます。体を動かすことが楽しくなり、やってみようとする意欲がみられ成長を感じています。

3歳児クラス (さくら組)

一人の子がテーブルにカップを並べてお店の準備を始めたところに「いーれーてー」と数人の子がやってきます。「いいよー」という返事を聞いて嬉しそうに加わると、マットを敷いたり小さな椅子を持ってきて並べ始めました。その楽しそうな雰囲気にも周りの子も集まってきて、部屋の半分ほどのお店が出来上がりました。準備が整うと「いらっしゃいませー」という声で開店です。「何がいいですか」とお客さんに聞く子、注文が入ると「はい」と返事をして作る子と遊んでいる中で自然と役割もできるようになってきました。友達と一緒に遊んだり、同じイメージを持ち、やりとりをする楽しさを感じている子どもたちです。

5歳児クラス (くすのき組)

毎日の生活、遊び、そして年長ならではの行事で友達とたくさん考えたり、話し合ってきました。この一年、落とし穴を掘ったり、重いものを運んだり、クラスの部屋を掃除したり、ドッジボールの作戦を考えたりと、友達と力や気持ちをあわせる場面がいっぱい見られました。先日の節分では、くすのき鬼が各クラスを周りましたが、鬼の迫力の度合いを調整したり、お面をとって安心させてあげる姿に年長としての思いやりや楽しませたい気持ちを強く感じました。保育園生活での様々な経験を通し、自信を持って楽しい学校生活を送ってほしいと思います。